

特定非営利活動法人 日本免疫学会
Tadamitsu Kishimoto International Travel Award for the 15th ICI
研究発表報告書

申請者氏名	南谷 武春	会員番号	0032467
申請者の所属・職名	大阪大学 微生物病研究所 分子免疫制御分野		
出席会議名	15th International Congress of Immunology Milan		
発表論文タイトル	Epstein-Barr virus-encoded Latent membrane protein 2A impairs B cell selection in germinal centers (GCs) but not GC formation		

実施結果:

今回は15th International Congress of Immunology Milan, Italy に参加することができ、また、口頭発表の機会を得ることができた。本学会参加は、自分にとって初めての海外での大きな学会の参加機会となり、世界中から集まった第一線で活躍する研究者たちの前で英語で発表する機会となった。そのため、発表時間は長くはなかったものの、緊張感を常に持ってスライド作成、発表練習に取り組んだ。発表自体はうまくでき、発表時間内で伝えられることは伝えることができたと思うが、やはり緊張から質問の内容をしっかりと聞き取り解釈することができず、うまく答えることができなかった。また、ひとつの質問(助言)では、もっとうまく当該の実験を説明できればもっと深くディスカッションができたのに、壇上ではそのことに気づかずに発表終了後に気づき悔しい思いをした。このように、課題は多く残ったものの、非常に重要で貴重な経験をすることができた。

学会自体は、朝のImmunology course、Perspectives in Immunologyでは、高名な先生の基礎から最新の研究までの貴重な発表を聞くことができ勉強になった。午前にはシンポジウム、午後にはポスターディスカッション、ワークショップの順番で行われ、特にポスターディスカッションは十分に時間が当てられ有意義であったが、会場が少し狭かったのが残念であった。また、ワークショップも貴重な発表をたくさん見ることができたが、発表時間、ディスカッション時間が短かったのが残念であった。

本学会参加では、世界中の素晴らしい研究に触れられ、勉強になっただけでなく、海外の研究者の空気や、海外の地域の空気を感じることができ、非常に有意義なものとなった。